

都道府県別賞一等

長生きリスク

高知県 高知中学校 二学年

岡崎 花夏

みなさんは「長生きリスク」という言葉を聞いたことがありますか。

私の住む高知県は、自然が多く大変住みやすいところですが、しかし、「日本の十年後の姿は高知県にある。」と言われるように、少子高齢化が全国より約十年先行していると厚生労働省や内閣府で指摘されています。高齢化率は日本で二番目の高さとなり、私のまわりにもたくさんの高齢者が住んでいます。

二年前に他界したひいおばあちゃんも、九十八歳ととても長生きでき、幸せな人生を送れたのだろうと思っていました。そんなとき、「長生きリスク」という言葉を耳にし大変驚きました。私は本来、長寿であることが幸せの証であり、リスクになるとは考えてもみなかったからです。

私たちの生活の中にはさまざまなリスクがあります。その中でも働き盛りの死亡や病気、ケガ、介護など予期しない出来事で経済的に生活が困難になり、思い描いていた生活が実現できなくなることがリスクであると考えていました。

しかし、高齢者は年金だけでは生活できず、長生きすればするほど、老後の生活費がふくらんでしまうリスクがあると知りました。多くの人は老後を迎えると仕事を退職し、まとまったお金を自ら稼ぐことができせん。貯蓄を切り崩してなんとか生活しても不測の事態が起きた場合や、老後生活が長くなると家計が破綻するかもしれないのです。

幸い私のひいおばあちゃんは、経済的負担を家族にかけることなく生活していたそうです。それは、年金や貯蓄に合わせ、保険をうまくやりくりしたおかげだと祖母から教えてもらいました。

私は保険とは、病気やケガをしなければ意味のないものだと思っていました。世の中、生きていく上で病気やケガを全くしない人はほとんどいないでしょう。もちろん、そのリスクに備えることも大切だと思います。ただ、もう一歩先の将来を見据えたとき、私達の老後生活は年金だけで生活できないのではと不安を覚えました。なぜなら、生まれた年により貰える年金額に大きな差が出ます。貰える年金は、若ければ若いほど、先が不確かで、経済成長により貰えるであろう年金が、大きく異なるからです。そして、その備えとして保険が必要なのだと気付きました。

人生全て思い通りに事が運べば、それは確かに素晴らしいことです。しかし、私達にはいろいろなリスクが降りかかってきます。私は、このリスクを上手に

## 第54回中学生作文コンクール

コントロールするために、生命保険を利用し、長寿という言葉の通り、長生き  
することが喜ばしいと感じる人生を送りたいです。